

共働き家族の家「DUE(ドゥーエ) CLASSO(クラッソ)」発売 家事がはかどる住まいの工夫と働き方改革で豊かな暮らしを

住友林業株式会社(社長:市川 晃 本社:東京都千代田区)は8月4日、共働き家族向け注文住宅「DUE^{ドゥーエ} CLASSO^{クラッソ}」を発売します。家族が協力しあうことで創出される大切な時間を豊かに過ごす工夫を盛り込んでいます。仕事と家事を両立し、ゆとりある暮らしを実現する住まいです。

情報サイト「日経DUAL」と行った読者アンケート、座談会による調査から、共働き家族のニーズをつかみ家事効率をアップする3スタイルを提案します。約30万件のお引渡し物件で培ったノウハウも合わせ、さくっと家事をはかどらせる設計提案、皆でともに家事を楽しめる空間、安全安心を確保する最新技術を取り入れたのが特徴です。

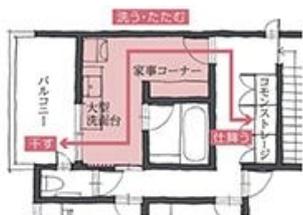
政府は自分らしい働き方を実現できる働き方改革を推進しています。夫や子供が家事を手伝うだけでなく、家族が協力しあい、家事を効率よくこなせる住まいは働き方改革を側面から支援する狙いも込めています。

■「DUE CLASSO」3つの家事提案

1. サク家事ーさくっと家事のはかどる提案

「とにかく時間が足りない」という共働き家族が効率よく家事ができる間取り、動線、収納アイデアを満載。無駄のない動線で毎日をサポートします。

- ・洗う、干す、たたむ、しまうまでをワンフロアの最短距離で動けるスムーズな洗濯動線
- ・家族も協力しやすい回遊できるキッチン、水まわり設計
- ・見やすく取り出しやすい収納設計



<スムーズな洗濯動線>



<回遊できるキッチン>

2. トモ家事ー家族でともに楽しく家事をする提案

家族みなが家事に参加しやすいよう動線、間取りを工夫し、家族のコミュニケーションをとりやすくします。家族が家事に積極的に参加したくなる家を提案します。

・手伝いがしやすく会話も弾む大容量でL型形状のシンクや動線が重ならないオープンなキッチンが特長のダイニングキッチン提案

・忙しい朝の時間帯もツーボウルの洗面化粧台で時間を有効活用

・動線上に家族それぞれの収納場所を設計し、個別に整理整頓しやすい間取りを工夫



<家族で使えるL型キッチン>



<ツーボウル洗面台>



<プライベート収納>

3. シン家事—最新技術で家事をサポート

進化した最新機能を暮らしに取り入れ、日中不在となる時間を有効活用し安心・安全の暮らしを実現します。

・太陽光発電システムと家庭用燃料電池のW(ダブル)発電で光熱費を抑制

・宅配ボックスで不在時でも荷物の受け取りが可能

・録画機能やネットワークにつなげて屋外から対応できる防犯性の高いドアホンで来訪者を確認

・クリーンで快適な室内環境を「全館空調システム」で創出



<門柱に組み込んだ宅配BOX>



<ネットワークカメラ付きテレビドアホン>

■OFFタイムを満喫する豊かな暮らしを提案

「3つの提案」で生まれた時間を豊かに過ごす。日々慌ただしい共働き家族だからこそ、オフの時間は自分らしく寛ぎリラックスできる住まいを目指します。

・ぐっすり熟睡できる快眠ベッドルーム

筑波研究所で検証を重ねた木質内装と間接照明による

ベッドルーム提案で眠りの質を高めます。

・バーベキューも楽しめる大型バルコニー

・疲れを癒すエステ感覚のバスルーム、檜の浴槽等



■商品概要

商品名 DUE CLASSO(ドゥーエ・クラッソ)

発売日 2017年8月4日

販売エリア 全国(沖縄を除く)

構造 ビッグフレーム構法

本体価格 3.3㎡あたり65万円(税抜き) (186㎡ 3LDKのモデルプラン)

商品名由来 ・ドゥーエはイタリア語で数字の「2」。「夫婦ともに」の意味をこめています。クラツソはイタリア語の「di Classe(上品な、おしゃれな)」と「暮らそう」からの造語
・仕事も家族も大切にする新しい共働き家族の暮らし方を提案したいという思いをこめています。

■背景

内閣府の男女共同参画白書(平成28年版)によると、「共働き世帯推移」は1980(昭和55)年以降夫婦共に雇用者の共働き世帯は年々増加しています。1997(平成9)年以降は共働き世帯数が男性雇用者と無業の妻からなる世帯数を上回り、約6割を超えています。また、「性別役割分担意識の変化」については、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、2014(平成26)年では女性は反対の割合が賛成の割合を上回り、男性は賛成、反対共に46.5%となりました。1980(昭和55)年の調査以降この考え方に反対する割合は男女とも増加傾向にあります。

共働き世帯の増加により、男性が家事を行う意識も向上しています。このような背景から、男女にかかわらず家事を効率よく行える住宅商品の必要性を考え、共働き家族に向けた住宅の開発に至りました。

以上

《ニュースリリースに関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション部 佐藤・中田

TEL 03-3214-2270

《お客様からの商品に関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社

住宅事業本部 営業推進部

TEL 0120-21-7555